

# 桜の季節に逢いましょう

## ～八重の愛した会津(ふるさと)へ～

### 【コースのおススメ】

- 春は・・・出会いと別れの季節ですが、多くの日本人が春から連想するものが桜ですね。雪深い会津にあっても、春の訪れを告げる桜は、雪のなかで春の訪れを耐え忍び、美しい花を咲かせるあたりが、新島八重にも通じると思います。
- 日本の花と言えば「桜」というイメージを持つ人が多いと思います。NHK大河ドラマ「八重の桜」をご覧になった方は、さらに会津を象徴するイメージをお持ち頂くかもしれません。
- 幕末または幕末前の雰囲気が残る会津地方で、日常とは違う風景の中でストレスの多い現代生活を忘れ、旅行中に気分をリフレッシュし、旅行後は日常を心機一転の気分で送って頂きたいと思います。
- そこで五感で、桜、会津を感じるようなコースを設定しました。皆様に“会津”の美しい春を巡って頂けましたら幸いです。



#### 1 鶴ヶ城の桜 所要時間：90分

会津の女性の強さを象徴するような“八重”が育ち、戦った場所。春は桜の名所でもあり、周囲の桜の美しさとともに青空に映える全国屈指の名城“鶴ヶ城”の美しさ。日常にはない風景で、日常から離れて場所に来たことを実感できます。

車：10分 車ない方：路線バス（ハイカラさん）



#### 2 石部桜 所要時間：30分

大河ドラマ「八重の桜」にも使用される会津五桜の一つ。一本の桜の幹が八本に枝分かれをしている樹齢600年になる桜。田んぼの中に一本凛と立っている様子が、新島八重の気高さとも重なります。

車：2分 車ない方：徒歩15分



#### 3 飯盛山 所要時間：60分

下から眺める桜だけではなく、上から眺める桜はいかがでしょうか。会津若松市内は桜があちらこちらに植えられており、そんな市内を一望できるのが飯盛山です。白虎隊も眺めた風景をみながら、気分を現代から幕末へタイムスリップしてみても！

【鶴ヶ城】車：10分 車ない方：路線バス（ハイカラさん）

【御殿場公園】車：20分

車ない方：会津若松駅まで路線バス（ハイカラさん）10分→  
会津若松駅から塩川駅（10分～17分）で下車、徒歩10分



#### 4 夜は桜のライトアップ！ 会津若松：鶴ヶ城 または喜多方：塩川の御殿場公園 所要時間：40分

会津若松市内ならば鶴ヶ城、喜多方ならば塩川の御殿場公園にて桜の開花に合わせてライトアップされています。夜の桜は人を惑わすと言われるので、異次元へ連れていかれないように！昼間の華やかとは違い、夜の幻想的な桜を味わい、違う世界を感じてもらいます

鶴ヶ城→東山温泉 車：15分 路線バス（ハイカラさん 15分）

塩川御殿場公園→喜多方 車：10分（宿による）、

車ない方：塩川駅から喜多方駅（5分～12分）



#### 5 宿泊：会津若松周辺 （からり妓さんに会う） または喜多方（農家民宿）

（会津若松周辺）会津若松の奥座敷と言われる東山温泉では「からり妓さん」という芸妓さんが温泉街に花を添えています。花見のあと、からり妓さんと風流な夜を過ごしてみてもいいかもしれません。

（喜多方）春の陽気のように明るく、温かい会津の人柄に触れる農家民宿はいかがですか。八重の桜でおなじみの会津弁を聞きながら楽しく夜を過ごしてみてもいいかもしれません。



**喜多方：日中線桜並木**  
所要時間：30分

新しい桜の観光スポット。しだれ桜が3kmにも亘る。自然を感じながら桜の回廊をウォーキングまたはレンタルサイクルで！鳥のさえずりや、草の匂いを感じながら。運がよければ、キジにも出会えます。朝食は喜多方ならではの朝ら一で。さわやかに始まる朝を感じ、気分をあげてもらいます。



車：50分  
車ない方：

- ①喜多方駅から会津若松駅→JR只見線会津若松駅から会津柳津駅（約1時間）
  - ②喜多方駅から会津若松駅（約15分～25分）→路線バス（若松駅前バスターミナルから坂下営業所、坂下営業所から柳津虚空蔵下まで）（約1時間30分）
- ※注意 日曜日、元旦は坂下営業所から柳津虚空蔵下間の路線バスが運休になるため、タクシーで代用。



**柳津**  
(福満虚空蔵尊圓蔵寺)  
所要時間：40分

日本三大虚空蔵尊の一つで、赤べこ伝説の発祥の地。対岸にある瑞光寺公園からの眺めは、1200年を越える寺の重厚さと、それを囲むように咲く桜、只見川のコントラストは正に絵巻物語のよう…。会津地方の人々は数えて13になると、お参りをするという風習があり、祈り参る場所として圓蔵寺を訪れます。非日常的空間を存分に感じてもらいます。



車：15分

車ない方：JR只見線会津柳津駅から会津坂下駅（19分）  
路線バス（柳津虚空蔵下から坂下営業所）（40分）

※注意 日曜日、元旦は坂下営業所から柳津虚空蔵下間の路線バスが運休になるため、タクシーで代用。



**会津坂下：(昼食)**  
所要時間：50分

おいしい「さくら(馬肉)」で満足感を。高たんぱくで鉄分などのミネラルが豊富、それでいて低カロリー。日常ではなかなか食べられない馬肉を堪能し、旅行の楽しみを味わってもらいます。町内に8軒も馬刺しを味わえる店がある坂下町では「どてちん丼」をはじめ、馬肉を使用した色々な料理を楽しめます。



車：25分

車ない方：JR只見線会津坂下駅から会津高田駅（43分）下車、  
タクシーで5分



**会津美里：薄墨桜**  
所要時間：30分

会津の総鎮守 伊佐須美神社境内に咲く会津五桜の一つ。一重と八重が入り混じり、御神木として鎮座する姿が圧巻！また、香りの薄墨桜と称され、会津藩主松平容保公も「世の人の心や深く染めぬらん うすずみ桜あかね色香に」と香りの素晴らしさを称えています。匂いは視覚、聴覚以上に思い出に残るとも言われています。日常に戻っても、桜の匂いを嗅いだときに、会津旅行を思い出し、気分をリフレッシュできるように。



車：大内宿こぶしライン→日光街道→白河→東北自動車道での帰宅

車ない方：JR只見線 会津高田駅からJR西若松駅、  
会津鉄道西若松駅から東京方面へ帰宅



**会津鉄道**  
会津鉄道を利用して東京方面へ帰宅しない方は会津鉄道で芦ノ牧温泉駅までの往復のご利用をお勧めします！  
車の方は、芦ノ牧温泉までのドライブ、さらにお時間がある方は大内宿こぶしラインを通過しての大内宿までのドライブがおすすめです。

旅のしめくりは会津鉄道で。会津鉄道沿線には山桜があちこちに咲いており、新幹線では発見できない小さな発見が沢山あります。鉄道の進路に合わせ、徐々に日常に戻る準備をしながら、次の日からまたがんばろう！という気分を整えてもらいます。

会津価値創造フォーラムは、会津地域を取り巻く厳しい社会経済環境の中、「Aizu as One（会津がひとつに）」の観点で、会津の様々な資源等を活用して新たな価値を創り出す活動を、会津17市町村の行政職員と民間企業等の有志により構成されるメンバーで検討・推進している活動体です。フォーラムでは大きく3つの分科会に分かれて活動しており、私たち第3分科会では「This is Japan! 観光促進プロジェクト」をテーマに検討してきました。

この度、私たちの分科会での検討成果として4つのモデルルート案を取りまとめました。会津にお越し頂いた方々に、会津で暮らしている私たちが是非とも楽しみ味わって頂きたい会津の良さを五感で体感頂き、「また来たい！」と思って頂けるようなルートを皆で考えたものです。

